

11.07.2025

暮らし、いのち
子どもたちの未来を
真ん中に

高市新総理への代表質問！

「政治とカネ」問題、「積極財政」の財源問題は、後ろ向き

11月4日(火)、5日(水)は衆議院で本会議が開会され、10月24日(金)に行われた高市新総理の所信表明演説に対する代表質問がありました。所属する立憲民主党からは、野田佳彦代表、城井崇衆議院議員、吉田はるみ衆議院議員が質問に立ちました。

野田代表からは、政治とカネの問題について、「けじめがついたと考えているのか」との厳しい質問。また、物価高対策として、立憲がすでに法案提出している「食料品の消費税ゼロ」の実現を求めました。

城井議員からは、「責任ある積極財政」の財源について、追求。「国債の増発」をおこなうのか？また懸案の「防衛費の増額」に向けた「防衛増税を行なうのか？」なども質問しました。

高市総理は、首相就任時や日米首脳会談などの勢いはトーンダウン。「検討する」との答弁を繰り返し、具体的な言及は少なく「けんとうし！」とのヤジも。アベノミクスの副作用でインフレが加速。にもかかわらず、物価高対策は遅れたまま。その上、米国に軍事費の大幅増を約束。しかし、その財源すら答えられない。そのような政治では、それは無責任というものです。

そして、吉田はるみ衆議院議員の質問。コメ問題では、小泉

前農水大臣の「増産指示」から、鈴木新農水大臣は、減反政策時の方針を打ち出しましたが、米の価格の乱高下で消費者も生産者も振り回されている。消費者と生産者を対立させてはならない、「国内で自給できる国産の美味しいお米を国民に届けるのが国の使命」との指摘に、全く同感です！

働き方改革

労働時間の規制緩和より、インフレに負けない賃上げを！

吉田議員は働き方改革についても質問しました。高市政権が打ち出した「労働時間の規制緩和の検討」について、「本来目指すべきは仕事と生活の調和を図りながら、働き続けられる環境整備と、基本給のベースアップ」と指摘。あわせて、介護士や保育士の「人材紹介会社の手数料問題」や不本意な非正規雇用の問題にも言及。高市総理からは、「過労死に至るような残業はよしとしない。副業で健康を損ねる方が出ることを心配」との答弁。

ここ30年、日本の労働生産性は3割上がったのに、非正規雇用化と下請け叩きで実質賃金は全く上がりず、自民党へ企業献金が集まる一方で、労働分配率は下がり続けました。行き過ぎたインフレの中で副業せざるを得ない人たちを作り出したのは、長期政権の歪んだ政治です。論理のすり替えには怒りを感じます。

7日の金曜日からは予算委員会が始まりました。更なる論戦、ぜひご注目ください。

佐々木ナオミのプロフィール

1969年 小田原市田島生まれ
国府津小学校→国府津中学校
→県立西湘高等学校(第29 回生)
→和光大学人文学部文学科卒
教育、子どもの人権、環境問題、農業、平和など、多岐にわたる市民活動を経て、
2007年 小田原市議会議員初当選。3 期12 年勤める。
2018年より保護司
2019年 神奈川県議会議員に初当選
県西地区では初めての女性県議会議員
2023年 神奈川県議会議員 2 期目当選
2024年 立憲民主党神奈川県第17区総支部長
2024年 衆議院議員に当選

地元事務所

〒250-0875

小田原市南鴨宮3-6-13

天野ビル1F西

phone. 0465-46-6831

fax.0465-46-6857

mail: team.naomi.sasaki.@gmail.com

web: http://naomi-sasaki.com

国会事務所

〒100-8982

東京都千代田区永田町2-1-2

衆議院第二議員会館611号室

phone. 03-3508-7427

fax. 03-3508-3907



公式 LINE



公式ホームページ



公式 Youtube